

- 東日本大震災では、津波により沿岸地域の市町村で多くの消防団員が被害を受け、公務災害等の認定がされて殉職した消防団員は、197人に上っている。
- このうち、殉職時に水門閉鎖作業をしていた団員は、3人であるが、その直前に「水門閉鎖」又は「水門の状況確認」をしていた団員を合計すると59人（29.9%）が水門閉鎖等に関係していた。

引用：東日本大震災記録集（平成25年3月 消防庁）

<殉職した消防団員の活動状況（平成24年2月29日時点）>

活動状況	岩手県	宮城県	福島県	合計(人)
① 水門閉鎖	2	1		3
② 警戒・救助	11	1		12
警戒・救助等(水門閉鎖後)	7			7
警戒・救助等(避難誘導後)	4			4
警戒・救助等(広報活動)		1		1
③ 避難誘導	44	61	13	118
避難誘導(水門閉鎖後)	25	3		28
避難誘導及び広報活動		12		12
避難誘導	19	46	13	78
④ 移動等	6	1		7
移動等(水門閉鎖後)	5	1		6
移動等(水門状況確認のため)	1			1
⑤ 出動途上	17	13	2	32
⑥ 避難等	10	6	9	25
避難等(水門閉鎖後)	8	6		14
避難等(避難誘導後)	2		9	11
合 計	90	83	24	197
(再掲)水門閉鎖等に関係するもの	48	11		59

(注) この表は、震災後の捜索活動等に伴う疾病により死亡した消防団員1人を除く公務災害等の認定を受けた消防団員の殉職時における活動状況を調査したものである。